

## 新役員です「よろしく」……神戸市協会

58年度神戸市協会の新役員が次の通り決まりました。この度は各委員会の委員長が大幅に変わりましたので、各委員長の方々に抱負を述べていただきました。協会運営について、何かとご意見のある方は、お気軽に各理事までお声をかけて下さい。

## 神戸市サッカー協会 58年度新役員

△会長	( ) 内は勤務先
△副会長	河本春男(株)ユーハイム 加藤正信(加藤医院)
△監事	西邑昌一 岡村敬(三菱重工株)
△理事会	三幣修(阪神相互銀行) 一北四郎(御影工高)
△常務理事	高見豊(神戸市役所) 岡本隆英(須磨高)
総務委員長	中村泰男(国際証券)
技術委員長	一北保五郎(川鉄建材)
社会人委員長	白石幸夫(宇津中)
△副委員長	伊藤吉和(八多小)
△審判担当	黒田和生(神戸FC)
△会計担当	顕木新一(顕木商店)
高校委員長	長岡康規(神戸高)
△副委員長	山根由雄(北須磨高)

……総務委員長……  
高見 豊 (39歳)  
神戸のサッカー仲間が、サッカーを通じてより楽しく、健康でより強くなることを望んでいます。  
神戸市協会の裏方さんとして運営がスムーズに流れよう努力します。  
よろしくご協力下さい。

……技術委員長……  
岡本隆英 (38歳)  
神戸市協会の技術関係でお世話をすることになりました。微力ながら神戸のサッカーが強くなるように努力いたします。

技術関係で最近問題になっているのは、中学チームの弱体現象です。県大会で市内のチームがタイトルを取れない状態が数年つづいています。中学の指導者の先生は学校のいろいろな問題をかかえながらサッカーの指導に毎日努力されていると思いますが、現状をふまえ、神戸のサッカー、とりわけ中学チームが強くなる方策をたてていただきたい。

例えれば、その方策の一つとして強化リーグ戦の実施です。練習試合の絶対量が不足していると思われる、強化リーグ戦を実施して実戦力を身につけさせよう。二つめは高校チームとの接触です。スピードと身体接触への自信がつくでしょう。同時に生徒の進路についても大きな影響力を与えると予想されます。

神戸のサッカーが強くなり全国レベルに追いつき、追い越すよう、お互いに研鑽(けんさん)しましょう。

中学委員長	市川雄一(六甲中)
△副委員長	山名康久(星和台中)
少年委員長	桜井研二(鈴蘭台小)
△副委員長	宮本進次(川崎製鉄)
審判委員長	藤田利明(神戸高専)
△副委員長	村上恒男(灘高)
ニュース編集委員長	加藤 寛(神戸FC)

△理事	大谷輝彦(和井田製作所)
技術副委員長	前野 正(アイ・アド)
綱紀委員長	皆木吉泰(皆木外科)
医事委員長	鳴瀬良一(大協)
社会人委員会	吉結玄修(市民中央病院)
△大学委員会	五島祐治郎(神戸大学)
高校委員会	佃 幹夫(六甲高)
△中学校委員会	森田哲哉(御影高)
△少年委員会	大和川洋一(本山中)
△会計委員会	前本勇二郎(丸山中)
審判委員会	白石幸夫(宇津中)
△少年委員会	伊藤吉和(八多小)
技術委員会	黒田和生(神戸FC)
審判委員会	顕木新一(顕木商店)
△	長岡康規(神戸高)

……社会人委員長……  
中村泰男 (48歳)  
市民体育の一貫として社会人サッカーを受け持つ事業を行っておりますが、社会人といつても年齢幅がありますので、特に健康に留意し、無理のないように頑張って下さい。それによつて事故をふせげると思います。

また、ルールを必ず守って下さい。eruleを守ることによって、他人に迷惑をかけなくて済み、運営もスムースに行くと思います。最後に、社会人委員の皆様には、会社の仕事以外にサッカーの仕事を日夜やっていただき、運営がスムースに行っていることを心から感謝いたします。

……審判委員長……  
藤田利明 (45歳)  
過去数多くの国際審判員、国際選手が育ってきた神戸市の審判委員長をお引き受けして今さらながら事の重大さを痛感しております。

選手が日ごろ鍛えて得たものを試合で十分発揮できるように努めるのが審判員の任務であると思われます。また、審判技術については各年齢層の審判指導者の方々を中心一層努力していただき全審判員の技術向上を目指したいと願っております。

……高校委員長……  
坪井正治 (31歳)  
このたび、高校委員長という大役を引き受けたわけですが、私なりに神戸市の高校サッカー、また神戸市全体のサッカーがよりレベル・アップ

し、発展するよう微力ながら努力していくたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

……中学委員長……  
市川雄一 (30歳)  
昨年、兵庫県選抜チームが國体で初めて優勝してきた。その内、半数以上が神戸市内の中学校出身である。決して、中学校段階からはずば抜けでうまい選手ばかりではなかった。必死になってうまくなると努力した結果である。練習を重ね、いい試合を観て、レベルアップしていくのである。幸い、神戸中央球技場では年間数多くの内外のトップレベルの試合が行われ、それを觀戦する機会を神戸のサッカーマン達は与えられている。頭も身体も柔軟な中学生段階でそれらの高度なテクニック、戦術といった良い面をどんどん吸収して自分達のサッカーにプラスしてほしいと思う。それを手助けしてゆくのが我々の仕事だと考えている。

……少年委員長……  
桜井研二 (35歳)  
新緑のまぶしい季節を迎えると、少年サッカーリーグの開幕である。新しい決意と希望をもって少年たちと指導者の姿が、市内のグラウンドで見ることができる。

本年度は、東、西神戸朝鮮、有瀬、若草の4チームが新加入し、各地区で活発に活動を始めている。

社会人と教師が手を取りあって少年サッカーの発展、技術向上、友だちづくりを指導のモットーとして努力していきたいと思っています。

また、ルールを必ず守って下さい。eruleを守ることによって、他人に迷惑をかけなくて済み、運営もスムースに行くと思います。

最後に、社会人委員の皆様には、会社の仕事以外にサッカーの仕事を日夜やっていただき、運営がスムースに行っていることを心から感謝いたします。

審判をしていて、ファウルだと思ってもすぐ笛が吹けず、吹こうと思っているうちに次のプレーに移ってしまい、吹きそびれたということは誰もが経験することでしょう。

そこで、自分が笛を吹きたい時に笛を吹けるように練習しましょう。

例えれば、時計を見て10秒毎に吹いてみたり、遠方を自動車が通つていればある目標物を通して吹くとか、いろいろ工夫をしてみて下さい。

笛の音も軽いファウルの時はピッ、悪質なファウルの時はビッビッピート笛でしかりつけるような気持ちで吹きます。いろいろな音を出す練習もしましょう。

神戸市社会人運営会議予定  
次回 7月14日(木)

8月11日、9月8日、10月13日、11月17日、12月15日、1月19日、2月16日、3月15日、3月22日、

いずれも木曜日、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

## 個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユーハイム

## 58年度県高校総体

## 伊丹北(初優勝)終了間際に決勝点



△初優勝の伊丹北高イレブン(58年6月6日、神戸中央球技場)

5月3日から始まった58年度県高校総体サッカー競技の部は、優勝候補筆頭の三原を破り、調子の波に乗る明石北と、準々決勝で実力No.1と目されていた御影工を破った伊丹北との間に決勝戦が行われた。

6月6日、神戸中央球技場で行われた決勝は、伊丹北がやや押されながらも得点を許さず、逆に後半31分には内海が決勝のゴールを決めて明石北を下し、見事初優勝を飾った。

神戸市勢はベスト8に赤塚山、北須磨、御影工と3チームが勝ち残り、赤塚山、北須磨が準決勝に進んだが、両チームとも残念ながら決勝進出は果せなかつた。神戸市勢の出ない決勝戦は、スタンドの応援もなく、ゲームの内容とともに今一歩盛り上がりに欠けるものがあつた。

伊丹北は、8月1日から名古屋で行われる全国総体に出場する。

## 明石北 絶好機を逃がす

## △決勝(6月6日、神戸中央球技場)

伊丹北高 1 { 0 - 0 } 0 明石北高

〔評〕 前半お互いに連戦のためか、疲労の色が濃く、動きが鈍くパスのつながらない展開で始まった。細かいパスの交換から明石北がベースをつかみ、29分過ぎから渡辺のドリブルシュート、CKから橋本のヘディングシュート、丸岡がGKと1対1の場面を作るなど連続して決定的なチャンスをつかんだが、決め手なく、0-0で前半を終わつた。

後半に入つても明石北の動きの早さは衰えず、伊丹北のゴール前に攻めようが決め手なく得点が入らない。伊丹北はパスミス、動きの悪さが目立つたが、18分すぎに初めてパスがつながり、リズムが出て右からの攻めで決定的チャンスをのがしたあと、31分、左サイドから中嶋のセンターリングをゴール前で杉原、内海とわたり、内海のドリブルシュートが決まり決勝点となつた。

結果的には試合経験に富んだ伊丹北が最後の頑張りを見せて初優勝を遂げましたが、全

明石北は動きのいいサッカーをしていただけに前半のチャンスをのがしたのが悔まれる。(県高体連技術委員長 岡本隆英)

## 県高校総体を顧みて

## 「目立つトレーニング不足」

県高体連サッカー部委員長 佃 幹夫

今年度も140試合を終え、伊丹北高校が初優勝を遂げて幕を閉じました。

予想通りの強豪が勝ち進み大会が盛りあがりました。優勝候補の筆頭、御影工、三原が惜しくも準々決勝で姿を消したもの、順調に駆け進めた伊丹北、ダークホース北須磨、赤塚山そして、これも優勝ラインに肩を並べる強豪西宮東を破り、一躍波に乗る明石北の4校が最後の熱戦を繰り広げました。

結果的には試合経験に富んだ伊丹北が最後

の頑張りを見せて初優勝を遂げましたが、全

般的には今年は特徴のある選手が少く、その点では大会の魅力を欠いた感じもします。なかにはスピードある選手が活躍し、ゲーム内容を高めたこともありましたが、どちらかといふと各チームとも選手不足で、中心選手がディフェンシブに働くケースが多く見られました。チームそのものの未完成もあり、やむなくとった策でしょうか、周りの見える選手が要となり、攻撃に長いバス、短いバスを配り、ゴールをねらうサッカーのおもしろさ、スマートさを欠いたような気もします。

この大会中、気のついた事はいろいろあつて、それぞれ意味のある事ばかりなのですが、うまい選手でさえトレーニング不足というか、ここ一発に無力さを感じさせられることがあります。試合の後「あのヘディングが決まっていたら」など、よく後悔する場面があつたでしょうが、今回も本当にたくさんのミスを見ました。正直いって、このミスは全部トレーニング不足に起因するものでした。

トレーニング不足は単に筋力、持久力、スピードへの影響ばかりではなく、精神力の強弱にもつながっていくのだと思います。平素サッカー選手として自分への期待を高くして、より強く、より速く、よりうまくといった具合に達成意欲を高め、練習やトレーニングをやらないとだめだと思います。そして、その上により高い効果を得るために、教養を高めること、日常生活では栄養や休養といった選手としての生活面の工夫をしていくべきではないでしょうか。

また、品のない暴力事件は全くはずかしいことです。又、勝つために使つたはずのテーピングテープや、スポーツドリンクの空カンのぼい捨て、後始末の悪さは会場校への迷惑ばかりか、選手として恥ずべき行為であり、相手チームへの汚いやじや、レフェリーへのやじは慎むべきではないかと思います。

秋の選手権大会を目指してのトレーニングが始まつたようとしていますが、今回の総体を反省し、よりよいチーム作りに精進されますよう心から期待します。

## 兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技結果(3回戦以降)



